

目標達成計画

作成日: 平成22年5月15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	母体の社会福祉法人の理念は玄関掲示板に提示しているが、我がグループホームの独自理念が作り上げられていない。	職員は勿論のこと、入所者ご家族も信頼と安心を共有化できる独自理念を作り上げ、提示するとともに職員が理念に基づく実践ができる事業所を目指す。	施設責任者が草案を作り、全職員で話し合って成文化したものを家族会において説明を、同意されたものを成文化する。	6ヶ月
2	2	地域との繋がりは前進しつつあるが、地域住民が気軽に立ち寄っていただける施設にはなっていない。	健康友の会のたまり場・会議や行事の場として活用していただくことを重視する。大正琴教室の週2回の練習を定期化し、演奏会で入所者と交流を強める。	近くにある保育園に呼びかけをして園児との交流の機会を強めたい。グループホームの行事に友の会や地域住民に参加していただく機会を増やして行きたい。	12ヶ月
3	4 5	前年度は地域運営推進会議を開催できなかった。	運営推進会議の定例化のために、地元区長や民生委員などと親しい関係づくりに努力したい。塩尻市の関係部局との連携を強めたい。	運営推進会議の開催と定例化を行う。	3ヶ月
4	33	三年目を迎えたが、入所者の身体レベルは低下している。どこまでならグループホームで生活できるかが今後問われていく状況にある。	認知症や身体介護に対する学習を強め、職員全体の力量アップを目指す。隣接する協立病院との連携(終末期医療などの学習会など)も深めていく。	職員学習の場を増やす。法人内及び病院の学習会に積極的に参加する。ホームでどこまで生活が可能なのか追求していく。	12ヶ月
5	35	消防避難訓練は実施したり、地域の避難訓練に参加はしているが、グループホームでの独自訓練には地域住民が参加するまでには至っていない。	前年度の取り組み以上の意気込みで訓練参加及び計画に努力したい。	友の会の会員(地域住民)に、独自の消防非難訓練への参加を呼びかけて行きたい。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。